

2019 GKP北海道総会 実施報告



日時：令和元年6月3日（月）15時30分～17時30分

場所：札幌市中央区北8条3丁目エルプラザ4階大研修室

（会員数及び出席者）

総会当時までのGKP北海道会員数 109名

（内、令和元年度新規入会者数18名）

総会出席者：66名

（総会）

司会進行役は総会議長を兼ねて坂田幹事長が担当。



冒頭、高橋会長（北大名誉教授）から開会の挨拶があり、引き続いて、GKP企画運営委員会の栗原副委員長が来賓として挨拶。



栗原副委員長からは GKP チーム九州誕生の紹介があり、「GKP 北海道とチーム九州がともに GKP の地方活動を活発化させることを大いに期待している」、また、「GKP 北海道が地方組織の先輩としてチーム九州の良き相談相手となってほしい」、などの話をされた。

その後、総会議事に移り、最初に、総会当日における会員数 109 人に対して出席数 66 人が会則に定める定足数を満たしていることを確認。

続いて、穎原幹事から平成 30 年度の活動報告と令和元年度活動計画について報告。令和元年度の主な行事としては、下水道促進デーに因んだチカホイベントのほか、昨年度、胆振東部地震のため中止となった、道南・函館方面への下水道遺産ツアーの 2 つ。



次に、竹内会計幹事から平成 30 年度の決算と令和元年度の予算案について説明。また、藤嶋監査から平成 30 年度決算は適正に執行されているとの報告があった。



以上の平成 30 年度活動報告及び決算、令和元年度の活動計画、予算案については出席者全員の拍手を持って承認された。

(講演会)

次に、講演会の部に移り、GKP 未来会サブリーダーの笹尾圭子氏が『未来会の活動紹介』と題して講演を行った。



講演は、パワーポイントを用いて、GKP における未来会の位置付けや『未来の下水道パーソン』を発掘するという未来会の目的、また、これまでの活動状況と活動の成果などを一通り説明した後、ワークショップに移った。

ワークショップは、まず、出席者各人に約2分間で「下水道業界に興味を持ってもらえるキーワード」を考えてもらい、それを5~6人のグループの中で討議して(約10分間)、グループの代表者がグループ案を全体発表するというもの。

発表では「下水道は資源とエネルギーの宝庫」、といったオーソドックスなものから下水道を仏教の曼荼羅図に例えるようなユニークなものまであり、出席者は下水道に関して多くの“気づき”を得ることができたようである。

なお、講演は出席者からはとても好評だったことを併せて記しておく。



次に、GKP マンホールカードグループの三谷副委員長からマンホールカード発行の変更点や第 10 弾の発行について説明があった。



最後に、亀井副会長から閉会の挨拶があり、閉会。



その後、出席者全員による記念撮影。



(意見交換会)

午後 6 時から市内のビアホールに移動し、意見交換会を実施。

出席者は 56 名

